

<今回の想定>

2023年7月 災害発生

2023年7月2日(日)16時16分、**京都府全域**に
大雨特別警報が発令された。

<今回の想定>

同日16時20分、西京区(人口約15万人)・右京区(人口約20万人)に避難指示が出され、避難所が開設し始められた。

同日17時11分、桂川と有栖川・小畑川・善峰川の合流点などが氾濫し、18時までには、西京区松尾地区、右京区梅津地区などで大規模な浸水が発生した。

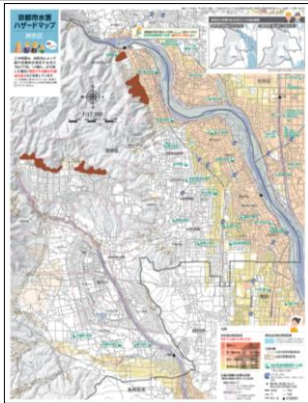
同日18時30分頃、西京区松尾地区・桂坂地区、右京区高雄地区で崖崩れが発生した。

7月3日(月)9時、京都府が被害発表。死者 8名、行方不明者37名。避難所 約70か所、避難者 約5千人。

<今回の想定>

西京区、右京区に
ハザードマップ(右)と
同様の被害が発生

- ・避難所は多数
- ・浸水地域内は断水
- ・広い地域で停電
- ・道路は徐行運転可
など



引用:京都市防災ポータルサイト>ハザードマップ>水害ハザードマップ>西京区
https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp/cmsfiles/contents/0000000/143/09nishiqyou_map.pdf

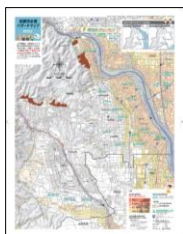
<想定> 皆さんは

京都市西京区などで働く、行政・保健・医療・福祉・介護の関係者で、西京よろし会の会員です。

- ・発災翌日の7月3日(月)13時。
- ・よろし会のA歯科医師から「よろし会として活動を検討したい」と連絡が入りました。
- ・今日の18時に、ホテル京都エミナースホールに集まりました。

<想定> 7月3日(月)18時 京都エミナースホール
第1回 西京よろし会 災害対策会議
ワーク ① (6分)

マップを使って「自己紹介」(1人1分弱)



- 1, 職種
- 2, お名前
- 3, 職場の
 - ・住所と名前
 - ・マップ上の位置
 - ・浸水被害の有無
- 4, 何かひとこと

避難所等における
歯科口腔保健集団アセスメント
(集団・迅速)

アセスメントの総括と評価

歯科チームは、本部に戻り、集合しました。
みんなで、簡易総括表を作成しました。

集団アセスメント(集団・迅速)簡易総括表(7月8日)

アセスメント実施年月日		2023年 7月		作成年月日		2023年 7月	
施設・避難所等 歯科口腔保健ユニットアセスメント表(評価・点配)		施設長(代表)		東京都 支部(東京都歯科医師会)		東京都 支部(東京都歯科医師会)	
No.	避難所等の名称(避難者等の人数)	9/9避難者等の人数(避難者等の人数)	10/10避難者等の人数(避難者等の人数)	11/11避難者等の人数(避難者等の人数)	12/12避難者等の人数(避難者等の人数)	13/13避難者等の人数(避難者等の人数)	14/14避難者等の人数(避難者等の人数)
1	A寺院	55	16	×	×	×	×
2	A小学校	550	70	×	×	×	×
3	A中学校	400	10	×	×	△	○
4	B小学校	400	10	×	×	△	○
5	C小学校	100	10	×	×	△	○
6	D小学校	50	10	○	○	○	○
7	D小学校	400	50	×	×	△	△
8	A文化会館	250	40	○	○	○	○
9	E小学校	100	40	○	○	○	○
10	F小学校	400	40	×	×	×	×
11	G小学校	400	40	×	×	×	×
12	G小学校	100	10	○	○	○	○
13	H小学校	400	40	○	○	○	○
14	I小学校	50	15	○	○	○	○
15	A高等中学校	50	35	○	○	○	○
16	J小学校	500	25	×	×	△	△
17	D中学校	550	15	×	×	△	△
18	A支援学校	150	80	×	×	×	×
19	K小学校	50	10	○	○	○	○
20	L小学校	50	10	○	○	○	○

集団アセスメント(集団・迅速)簡易総括表(7月8日)

アセスメント実施年月日		2023年 7月		作成年月日		2023年 7月	
施設・避難所等 歯科口腔保健ユニットアセスメント表(評価・点配)		施設長(代表)		東京都 支部(東京都歯科医師会)		東京都 支部(東京都歯科医師会)	
No.	避難所等の名称(避難者等の人数)	9/9避難者等の人数(避難者等の人数)	10/10避難者等の人数(避難者等の人数)	11/11避難者等の人数(避難者等の人数)	12/12避難者等の人数(避難者等の人数)	13/13避難者等の人数(避難者等の人数)	14/14避難者等の人数(避難者等の人数)
1	メダイサービセンター	10	10	△	△	△	△
2	B施設	10	10	×	×	○	○
3	特別養護老人ホームC	45	45	○	△	△	△
4	D施設	15	15	×	×	×	×
5	特別養護老人ホームE	70	65	×	×	×	×
6	デイサービスF	10	5	×	×	×	×
7	Gデイサービスセンター	10	5	×	×	×	×
8	H	10	10	×	×	×	×
9	ワークハウスI	10	10	○	△	△	○
10	特別養護老人ホームJ	150	140	○	△	△	○
11	K	30	20	○	△	△	△
12	L	5	3	○	△	△	△
13	M	30	22	○	△	△	△
14	N	30	25	○	△	△	△
15	H	50	15	×	△	△	△

総括表からのまとめ

地域	避難施設などにおける歯科の問題点や課題	地域や近隣の歯科医療提供体制	明日以降の歯科支援の必要性
松尾	避難所の環境が悪い 清掃用具が不足傾向 A中学校のコロナ感染対策	被災した診療所が多い	歯科保健対応中心 A中学校は感染対策確認
上桂	避難所の歯科症状が多い D施設の衛生環境が悪い	施設への専門支援が不足 気味	歯科医療対応中心
桂	施設の専門支援が未確保で、清掃環境も悪い 施設の「不明」が多く、職員の疲弊も目立つ	被災・休診診療所と一部診療可能な診療所が混在 施設への専門支援が不足	歯科医療+保健対応 継続してアセスメント 施設への専門支援が急務
桂坂・洛西	D中学校のコロナ感染対策 食支援が必要 施設は断水箇所が多い	避難所周辺の専門支援は一部不足しているが、施設への専門支援はほぼ確保されている	歯科医療+保健対応 継続してアセスメント D中学校は感染対策確認 施設は嘔吐医と連携

＜想定＞ 皆さんは

7月8日(土)に歯科チームの活動を見て、また翌日の休日の9日(日)にも、対策本部に参加しました。

- 発災7日後の7月9日(日)、蒸し暑い日です。
- あなたは明日から職場に戻るので、少しでも現状の情報をゲットする必要があります。
- 対策本部では、よろし会の歯科チームから「在宅に避難されている要配慮者について、意見を聞きたい」と申し込まれました。

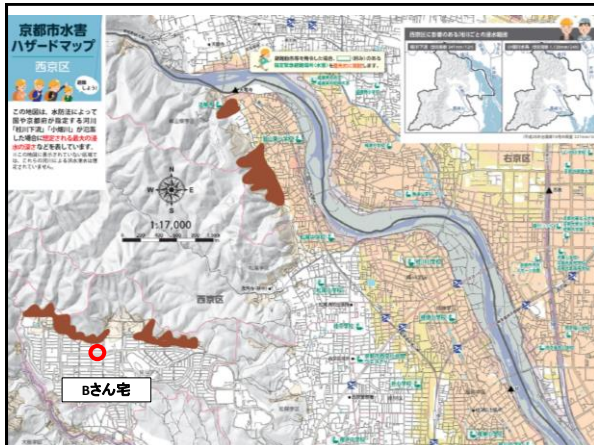
ワーク ②-1 (10分)

各班で、在宅避難者について意見交換します。

- 「災害時にも『食べる』を守る」という視点から、「何が問題か?」、「現在および今後、どういうリスクがあるか?」、「今、何をアセスメントすればよいか?」を検討しましょう。
- それを解決するためには、「誰と、どう連携するか?」を考えてみましょう。

CASE 1 :Bさん、89歳、女性

- 要介護4、独居、近隣在住の長女(62歳)が介護
- 脳梗塞による右上下肢全廃、高血圧、糖尿病
- 日常生活自立度:寝たきりB1・認知症 I
- 食事は利き腕でない左手で行うため、時間がかかる
- 最近、食事中にムセることが多くなっていた
- 水分摂取を嫌がり、脱水症で入院したことがある
- 主治医: B病院脳外科、内科は近隣開業医
- 被災後の状況: 5日前まで停電・断水していたため、熱中症のような症状になりかけた。長女としては、片手でも食べやすいように、被災前よりも少し小さめの大きさに変更するなどの配慮はしていたつもり、とのこと。長女自身ももともと心臓が悪く、特に被災後は体調がすぐれないので、このままでは食事の用意が面倒だと感じてきている。



西京区内 & 近郊医療機関情報(病院)

*あくまでも本研修会における想定のため、実際の災害における被災状況ではない

全数	名称	診療科	稼働		休業		被災状況	診療状況
			外来	入院	訪問	外来		
6	A病院	酒内、呼内、腫内、循内、神内、消外、紅外、整外、泌尿器、心内など	◎	◎				非常用電源 通常診療
	B病院	脳神外、脳神内、内、泌尿器、外科、整外、呼外、呼内、循内、皮膚、腎臓など	◎	◎				非常用電源 通常診療
	C病院	内科、糖尿病・内分泌内科、腎内、リウマチ、救急、呼内、呼外、脳神内、脳神外、整外、産婦人科、小児、精神科など	◎	◎				非常用電源 通常診療
	D病院	脳神外、脳神内、外科、内科、循内、整外、リウマチ、泌尿器、皮膚、整形外科、ペインなど	◎	◎				被害なし 通常診療
	E病院	内科、循内、消内、外科、整外、形成外、脳神外、泌尿器、皮膚、眼、耳鼻科、歯科 など	◎	◎				被害なし 通常診療
	F病院	内科、消内、小児、呼吸器、心臓、整形、眼、歯科、産婦人科など	△	△				非常用電源 断水 一部断水
1	G市立病院	小児、精神、感染症、歯科口腔外科	◎	◎				被害なし 通常診療
1	H大学医学部 付属病院	血内、糖尿病内、循内、歯科口腔外科、救急科など	◎	◎				被害なし 通常診療

職種別の「食べる」支援アプローチの一例

職種	アプローチ
介護者(家族)	摂食介助、身体介助、口腔ケア
医師	全身・リスク管理、検査、訓練指示、病状・治療方針の説明と同意
看護師	バイタル測定、薬投与、点滴・経管栄養・気切カニューレ管理 口腔ケア、摂食介助、摂食・嚥下訓練、家族指導・サポート
薬剤師	調剤、嚥下しやすい薬剤の調整、薬効の説明
歯科医師	検査、口腔疾患治療、義歯作成・調整、摂食嚥下訓練
歯科衛生士	口腔ケア、口腔衛生管理、摂食・嚥下訓練
言語聴覚士	口腔機能訓練、摂食嚥下訓練、構音訓練、高次脳機能評価と治療
理学療法士	頸部・体幹訓練、一般運動療法、肺理学療法、摂食訓練
作業療法士	失認・失行評価、姿勢・上肢訓練、食器の工夫、自助具、摂食訓練
管理栄養士	カロリー・水分などの栄養管理、嚥下食の供給と作り方指導・紹介
ソーシャルワーカー	環境調整、関係調整、社会資源紹介
ケアマネージャー	ケアプラン作成・見直し、介護・医療・保健の連携と調整
保健師	医療・保健・介護の連携と調整、保健指導、健康管理、社会資源紹介

「災害時の在宅避難者の『食べる』を守る」

	保健	医療	福祉・介護
問題点			
リスク			
アセスメント			
連携			

ワーク ②-2 (10分)

「個別アセスメントと個別支援」

各班で、**在宅避難者**について意見交換します。

- 「**災害時にも『食べる』を守る**」という視点から、「何が**問題**か?」、「現在および今後、どう**いうリスク**があるか?」、「今、何を**アセスメント**すればよいか?」を検討しましょう。
- それを解決するためには、「誰と、どう**連携**するか?」を考えてみましょう。

CASE 2 :Aさん、85歳、男性

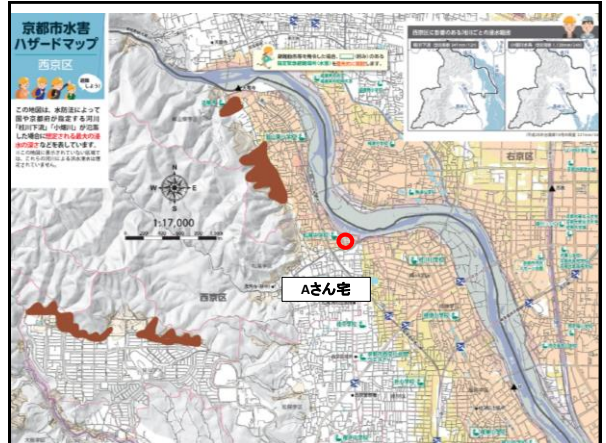
- 要介護5、妻(82歳)が介護、長女(62歳)夫婦は大阪、長男(60歳)夫婦は長岡京市、次女夫婦(50歳)は東京在住
- ALS(筋萎縮性側索硬化症)**、胃ろう設置、人工呼吸器使用中(非常用電源で稼働中)、高血圧、糖尿病
- 日常生活自立度：寝たきり C2・認知症 III
- 訪問診療(月1回)、訪問看護(週3回)と、入浴(各週2回)、歯科衛生士による居宅療養管理指導(週1回)を受けていた
- 主治医：A病院 神経内科(他科も併受診中)
- 被災後の状況：停電のため非常用電源を活用していたが、電源確保と公的支援のために、近隣住民が協力してA中学校に搬送し一時避難した。しかし、コロナ陽性者が発生するなどしたため、できれば自宅に戻るか、無理ならば近隣の福祉避難所か介護施設などで、従来通りのサービスを受けたいと希望している。

CASE 2 : Aさん、85歳、男性

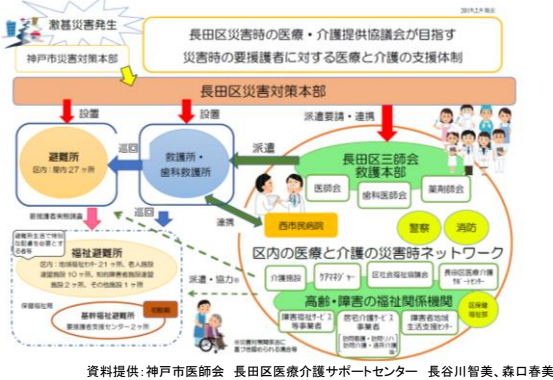


< 歯科的所見 >

- ・上顎は28本すべて歯があり、中等度の歯周病でグラグラ
- ・下顎は前歯が3本のみで、あとは部分入れ歯(不適合)
- ・唾液の嚥下時に、2~3日に1回ムセることがある



神戸市長田区の医療介護ネットワーク



歯科保健啓発資料など:

「災害歯科保健」Disaster Oral Health

<https://www.youtube.com/channel/UCDPHT2WeOHg>

TED7ziW48r0Q/videos



動画: マスクしたままでもできる「お口の体操」